

排水路除草業務委託仕様書

1. 刈り草の処理について

排水路除草業務委託にて発生する刈り草の処理方法等は以下の(1)～(2)のとおりとし、
野外焼却は行わないこととする。

(1) 処理方法については以下の中から処理方法を選択すること。

- ①市町村(一部事務組合含む)のRDF施設による処理
- ②堆肥化等の再資源化施設(一般廃棄物処分業の許可施設又は元請業者が有する施設)による処理
- ③民間の焼却施設(一般廃棄物の許可施設)による処理
- ④地域の農家等の希望者に還元(希望者と別添様式「刈草受入希望届出」「刈草受入確認書」を取り交わす)

なお、上記の方法を採用する事ができない場合は事業主管課と協議すること。

(2) その他

- ・市町村の一般廃棄物の処理に関する条例を厳守すること。
- ・市町村施設により受入れを拒否される場合があるので、受入れ条件等について事前に確認をとること。
- ・民間の処理業者に処理を委託する場合は、できるだけリサイクル化する施設を利用すること。

2. 処分証明

- ・処理施設の搬入状況写真と伝票等(マニフェスト等)を完成書類に添付する。

3. 完成書類

- ・位置図(作業路線を着色する。)
- ・数量計算書(路線名, 延長, 除草幅, 面積, 設計値増減比較)
- ・写真管理(各路線EP, BPごとに「着手前」「完了」, 各路線ごとに「作業中」, ただし1路線が長い場合は2組程度, 「処理場搬入状況」, 看板設置などの「安全管理」, 空き缶などの「ゴミ収集状況」)

4. 立会

- ・1 路線完了するたびに事業主管課の担当者へ連絡をし、立会いを求める。

5. 安全管理

- ・作業中は、歩行者、通行車両、家屋等に飛び石その他危険がないよう十分注意すること。
- ・作業者は、防護メガネを必ず着用すること。
- ・必要に応じて作業区間には作業中、矢印等の看板を設置し安全確保に努めること。

6. その他

- ・刈草は水路敷に放置せず、その日のうちに片付けること。
- ・除草区間内の空き缶等のゴミについては、収集し、処分施設等に搬出する。その際、施設等の伝票を受け取り報告書に添付する。
- ・粗大ゴミ等がある場合は、市へ連絡し協議する。
- ・その他疑義が生じた場合には、市と協議するものとする。